

会 議 録

会議の名称	令和３年度 第１１回 栃木中央地域会議
開催日時	令和４年３月２８日（木） １８時３０分開会～２０時００分閉会
開催場所	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館
出席者及び欠席者氏名	別記１のとおり
事務局職員職氏名	別記１のとおり
その他出席者等	別記１のとおり
会議事項	別記２のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	０人
その他必要事項	なし
会議の経過（議事の要旨）	別記３のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者

会 長	古澤 利夫	副会長	岡田 真由美
委 員	五十畑 文子	委 員	大栗 利夫
委 員	大塚 昌峰	委 員	小倉 治雄
委 員	下枝 順子	委 員	杉戸 洋
委 員	中村 絹江	委 員	野口 邦子
委 員	堀越 元樹	委 員	松本 真由美
委 員	林 美佐子	委 員	水越 房代
委 員	村田 弘子		

以上 15名

○欠席者

委 員 高橋 正行

○事務局

【地域振興部】

加茂 浩史（地域政策課長）
鈴木 健司（地域政策課副主幹）
関口 智 （地域政策課主査）
関根 光里（地域政策課主任）

○その他出席者

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 連絡事項

【情報提供】「栃木市総合計画」に対する意見書の提出について（総合政策課）

4 議 事

地域課題の解決策の検討

5 連絡事項

次回の開催予定について

4月19日（火）午後6時30分～

キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 1階 大交流室

6 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
会長	前回までの会議の振り返り。地域予算で取り組む課題について、事務局より説明願います。
事務局	前回（第8回）の会議では、今後取り組む課題について、具体的にご検討をいただきました。市内を巡り、合計18の課題があげられ、委員の皆様より投票をいただいた結果6つに絞られました。 【資料に基づき解決策案について説明】
会長	事務局から提案された解決策以外に、皆さんから何かご意見は。
委員	例幣使街道の木製看板は4か所か。それは、増やすのか。
事務局	4か所を直す、新設する、それはやり方次第です。増やすとなると、予算もかかります。
委員	知り合いに確認したところ、既存の看板の価格は分かりませんが、1つ5万10万かかるものではないそうです。今の看板は、目立たず分かりづらいし、みっともない。 公園の関係で、城址公園ではありませんが、旧栃木市役所の県庁堀川の噴水を整備するという話はどうなりましたか。
事務局	昨年度、文化課で対応するということになりましたので、確認します。
委員	栃木市は合併して南北に大きくなりましたが、共通するのは川と道だと思う。巴波川や例幣使街道を更にPRするべき。 目立たない看板は何故目立たないのか。では、どこにどんな形で設置すれば目立つのかを考え、設置したとPRする必要がある。紙のツールだけでなく、SNS等の電子媒体を活用する、スマートフォンの地図のアプリなどと連動して散策するような仕組みが必要。 蔵の街がイメージされないというのは、どれが蔵だか分からないから。栃木の街中の人でも知らない人が居るので、基本的なところからレクチャーする必要があると感じる。 とち介は蔵の形をしているので、もっと露出してイメージキャラクターとして、イメージアップを図ると良い。
委員	巴波川の河岸看板について、栃木河岸はどこにあるのか。

委員	平柳河岸と栃木河岸を勘違いしていた。
事務局	栃木河岸と片柳河岸は同じようなところ、塚田伝説記念館の隣を流れる巴波川の東西にあります。西側が片柳村で片柳河岸、東側が栃木町で栃木河岸と、歴史的風致維持向上計画にも記載があります。
委員	城址公園に人が来ないのは、駐車場が無いから。土地の取得は公園緑地課へ協力をいただきたいが、借りるということはできるのか。
事務局	市としては、借用ではなく取得が前提となりますが、まず、地域会議として予算化するのは難しいと思います。取得もしくは借用の要望という形で整えて提出するのも1つだと思います。
会長	金額・スケールのにもかなり大きくなると思います。地域会議の予算が600万円程度なので、事務局からもありましたように、市へ要望として提出するのも1つ。
委員	誰を対象として、どんな魅力をPRしたいのか見えてこない。長く滞在する公園なのかという疑問もある。
会長	城址公園には、以前地域会議の予算で設置した看板がある。また、皆川地区をテーマにした小説があり、城址公園は皆川城の出城だったことから、そういうアピールの仕方もあるのかなと思う。
委員	歴史あるところだと言われても、子育て世代からはあまり魅力を感じませんし、お金をかけるのももったいない。栃木駅前、観光客がメインでプラス市民の方にも栃木の魅力をPRするというイメージがわく。 とち介の看板（QRコード）などを設置して、スタンプラリー形式で回っていただく。
委員	城址公園は、現地調査で初めて訪れた。今、高齢者が集まったり運動したりする場が無いので、子供たち向けの遊具だけでなく、健康器具のようなものがあったもいい。
委員	ガイドンスセンターでは、とち介の折り紙を小さい子が来たら渡している。そういうところからやっていかないと。 駅についても、栃木駅から新栃木駅に人が流れるようにしないといけない。蔵の街も瓦屋根ひとつみても面白い。観光客の方には、通りいっぺんの話では

	なく、面白い話をしたい。
委員	看板の話で、泉町から嘉右衛門町に入るところに、黒い角材の看板があり、意外と見やすい。
委員	蔵が一番集中しているのは嘉右衛門町なので、栃木駅からどのように連れていくかが重要。万町交番から室町の交差点の辺りまでと、駅前の街路灯にはフラッグをつける支柱があるので、駅前から嘉右衛門町まで同じフラッグをつけて行けば、道しるべになる。とち介等をデザインして、耐久性に配慮して季節ごとに付け替えられるようにしたら良い。
委員	観光客は万町までしか来ない。嘉右衛門町は若い人がお店を出している。
委員	栃木市に越してきて、全く歴史を知らなかった。黒い看板は、確かに目立つので主要箇所があれば事足りるのかなと。 城址公園の歴史的な意味は良くわかっていないが、何とかしなくてはいけない気がするので、大きく予算をかけるのではなく、少しずつ手を加えて良くして行けば来る人が増えるのではないかな。
委員	江戸の大火等で蔵が火事に強いということが分かったため、栃木の商家がこぞって蔵を建てた。天狗党の放火により普通の家屋は燃えてしまったが、蔵は焼け残ったことで、明治時代になって蔵が多く建った。
委員	入口が斜めなことについてはいくつか説があるが、大八車を置くためという説は東側だけ斜めになっている理由がつかない。一説には、西日を避けるために斜めにしているといわれている。また、河合町の交差点から栃木宿の入り口の本戸があった室町の交差点に来て北側を見ると、西側の店舗は見えるが、東側の店舗は見えづらい。店舗の入り口を少し南側に傾けることで本戸の入り口から町の見通しを良くし、栄えているように見せたという説がある。
委員	長く住んでいるが地元ではないので、昔の話を聞いても何もわからない。栃木といえば蔵の街のイメージなので、ばらばらにいろいろなことをするのではなく、蔵の街として売るのであれば、蔵の街のイメージを膨らませる何かをした方が良いのではないかな。
委員	蔵の街のマップ（蔵の街課作成の PoPoPo）で例幣使街道を色分けしたら見やすいのではないかな。
委員	栃木の商店の開店時間は 10 時から 17 時ぐらいで閉まっている時間が長いので

	で、朝通っても、夜通っても例幣使街道だとわかるように、シャッターにとち介の絵や、例幣使街道の案内等を書いたらどうか。
委員	栃木城址は何もないが、城址の丘を登ると爽快で気持ち良い。
委員	観光客に言われることは、栃木市は流れる時間がゆっくりでのんびりできるので良いということ。観光客はそういったことを求めてくるのだと思うので、栃木らしい時間の流れを念頭において、そこをPRすると良いと思う。
会長	色々な意見が出ました。出た意見を事務局で次回までにまとめ、その中から解決策を探っていきたいと考えています。
事務局	いただいた意見をまとめて、委員の皆様を送付いたしますので、それを参考に新たなご提案をいただくという流れで進めさせていただきます。 その他 次回の開催予定について 4月19日（火）午後6時30分～ キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 1階 大交流室